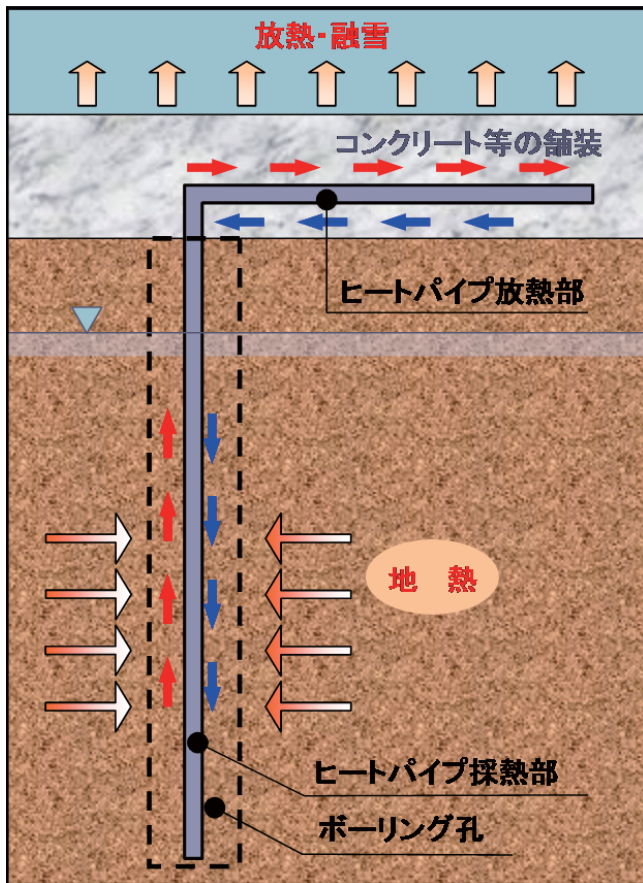


融雪（地中熱利用）



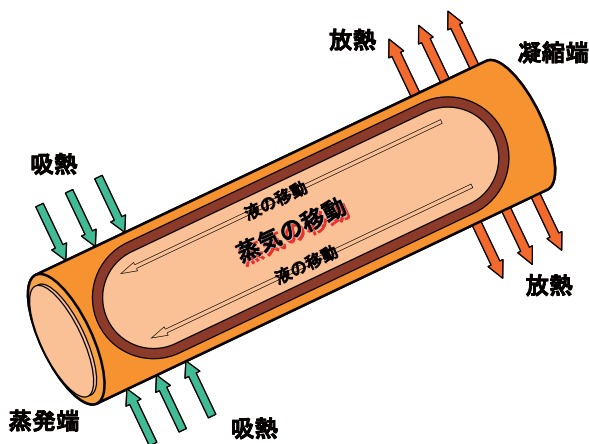
- ・ヒートパイプという媒体を使い、地熱（地下水熱）より採熱し、路面を温め融雪します。
- ・動力を使わず電気が無料で、ランニングコストに優れます。
- ・地中温度が高い場合、地下水量の流れが大きい場合には、熱量供給が継続され有効です。
- ・プレキャスト施工ができず、供用中道路での施工は困難で、未供用道路での新設への適用が有効です。



①ヒートパイプ設置状況



②融雪状況



- ・ヒートパイプは、金属パイプの内部を真空にして代替フロンなどの液体を封入したものです。
- ・地中熱により加熱されると液体が蒸気となりパイプの上部へ移動します。
- ・路面を暖めた後に、冷却された蒸気は液体に変化し、重力によりヒートパイプの下部へ移動します。
- ・地中熱の共有がある限り、蒸気の移動が続けられ、融雪効果が持続します。